



# 例会報告

高山西ロータリークラブ

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988  
大垣共立銀行 高山支店 4 F

- 会 長 井辺 一章
- 幹 事 塚 和信
- 会報委員長 田中 晶洋



残雪 田中 晶洋

## <会長の時間>

酒宴のしきたりは『めでた』が出るまでは席を立ててはいけないという事です。以下の様な理由があるようです。

- ①料理をしっかり頂き悪酔い 避ける
- ②料理を作ってくれた方に感謝する
- ③座席の両側の方が知らない方でも交流を持つ
- ④宴席といえども目上の方などに失礼のないようにする



## <本日のプログラム>

### S. A. A 垣内 秀文

今日は、ご当地の高山祭をユネスコ世界無形文化遺産登録にとご尽力されました寺地亮平さんをお招きし卓話頂く運びとなりました。

寺地さんにはユネスコ世界無形文化遺産登録は元より、毎年、厳粛かつ煌びやかに執り行われております高山祭での運営に関する苦勞話等々も我がクラブの例会運営にも必ずプラスになることがあると考えており、SAA 担当例会としまして卓話を大変楽しみにしております。

ここで皆さんご存知でしょうが改めて寺地さんをご紹介します。1956 年昭和 31 年の 6 月 10 日生まれで 60 歳になられます。お仕事は現在、丸丸進工機で代表取締役を務められておられます。

又、高山屋台保存会 庶務担当理事、全国山・鉾・屋台保存連合会 出向理事、校山八幡宮 高山祭屋台会館運営委員長等々、公私ともに忙しく活躍されており今日は「ユネスコ世界無形文化遺産登録と高山祭屋台行事」と題し大変貴重なお話をさせていただきます。約 30 分と短い時間ですが寺地さんどうぞよろしくお願い致します。



## <幹事報告>

### ◎ガバナー、次期ガバナー、地区会員増強部門委員長より

- ・次期会員増強研修セミナー開催のご案内  
日 時 5 月 13 日(土) 点鐘 11:00 終了 15:30  
場 所 四日市都ホテル  
出席義務者 現・次期会長・幹事、会員増強委員長、入会 3 年未満の新会員



### ◎ガバナーより

- ・R I 会長賞その他についてのお知らせ

### ◎ロータリー囲碁同好会日本支部より

- ・『第 18 回ロータリー国際囲碁大会』開催のお知らせ  
集 合 6 月 3 日(土) 15:00 住都大飯店ロビー  
(台湾・桃園市) 専用バスにて会館往復  
会 場 台湾・桃園市 蘆莎威會館  
主 催 ロータリー囲碁同好会台湾支部  
登録料 15,000 円(3 日晚餐会費、4 日懇親会費、賞品、バス代、おみやげ交換等含)  
締 切 5 月 19 日(金) までに事務局へ

### ◎高山市都市提携委員会より

- ・平成 29 年度高山市都市提携委員会会議の開催について(ご案内)  
日 時 4 月 21 日(金) 10:00~  
場 所 高山市役所 2 階 201・202 会議室  
議 題 ・平成 28 年度事業報告及び収支決算報告について  
・平成 29 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について



### ユネスコ世界無形文化遺産登録 「高山祭の屋台行事」 高山屋台保存会 理事 寺地 亮平 様

1. ユネスコ世界無形文化遺産とは?  
7 年前から関わって世界無形文化遺産登録決定 (その経緯と意義そして未来)
2. 屋台保存の仕事に関わって  
地元屋台保存委員 25 年、全国山・鉾・屋台保存連合会理事 15 年、全国の仲間との交流 (祭りを通じて全国の見聞を)
3. 高山祭の歴史起源  
屋台の発生は江戸時代 1700 年代~、日枝神社・八幡宮の歴史

## <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	32 名	0 名	32 名	39 名	82.05%
本日	32 名	-	32 名	39 名	82.05%

# 例会報告

4. 屋台の発生（建造）から現代まで  
京都・江戸の文化の混合、金森氏と代官所、旦那衆～町民～農民、  
屋台の歴史、上町・下町のライバル心
5. 高山祭の課題と未来  
祭りの現状…屋台組・氏子地域の少子高齢化・地域の空洞化、  
守るために攻める（各地との違い）  
高山独自の戦略・高山から発信を！  
サポーター制度と郷土教育（高山市の代表的な祭りとして未来永  
劫全市的支援の確立）（ボランティアによるサポート・未来志向  
のふるさと教育）

## <ニコニコボックス>

- 高山RC 鍋島 道雄さん  
度々のメイクアップありがとうございます。
- 井辺 一章さん、堺 和信さん  
高山屋台保存会 理事 寺地亮平様のご来訪を歓迎いたします。本日の卓話を楽しみにしています。よろしくお願いいたします。今年の公示地価が発表されました。全国的には2年連続での上昇とのことですが、県内は住宅地が0.8%、商業地が0.7%下落し、25年連続で前年を下回りました。そんな中で高山市上三之町は上昇率3.8%で県内の商業地でトップでした。これは観光客の増加によりホテル需要の増加に伴う用地取得により、地価の上昇がみられたとの事です。やはり現在市内に4件のホテル建設が予定されていて納得のいく所ですが、こんな地方で土地の価格が高すぎる気がします。
- 垣内 秀文さん  
本日は今年度最終、何と3度目のS. A. A担当例会ですので、高山屋台保存会理事でユネスコ無形文化遺産登録にも大変ご尽力されました寺地亮平さんを、公私共に忙しい所お越しいただきました。ありがとうございます。卓話大変楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。
- 田近 毅さん  
寺地様のご来訪を歓迎申し上げます。卓話楽しみにしています。
- 阪下 六代さん、平 義孝さん  
寺地亮平さんのご来会を歓迎申し上げます。卓話を楽しみにしております。
- 古橋 直彦さん  
寺地亮平さんのご来訪を歓迎致します。寺地さんとは同じ八幡氏子、同じ屋台組です。本日はよろしくお願いいたします。
- 塚本 直人さん  
寺地さんのご講話を楽しみにしています。文化活動・地域貢献に積極的に取り組まれている姿はいつも頭が下がります。これからもご活躍を期待します。それから少しずつ春めいて来ました。子供たちの成長を確認する春休みが始まりますので、規則正しい生活を親子共々気をつけます。
- 井上 正さん  
遅くなりましたが3月1日付で会社名を株式会社飛騨プロパティマネジメントからすみれリビング株式会社に名称変更させて頂きました。すみれは花言葉が「謙虚・誠実」で社是である「謙のみそれを為す」と共通し、また英語でSmile（スマイル）とも読むことが出来、笑顔を大切にしたいとの思いも込めました。新社名となり更に精進して参りたいと思います。
- 田中 正躬さん  
昨日は地元小学校の卒業式に行って来ました。厳粛な中でいつも感動します。2人の孫も大きな声で送る言葉を言っていました。子供たちの成長ぶりに目を瞠るばかりです。今日は早退させて頂きます。来週は孫達との旅行に出かけてお休みさせて頂きます。休みが長くごめんなさい。

- 住田 泰典さん  
本日申し訳ありませんが早退させて頂きます。
- 大村 貴之さん、平 義孝さん、岡田 賛三さん、田中 武さん、  
向井 公規さん、山下 直哉さん、田邊 淳さん  
大相撲春場所。新横綱 稀勢の里 12日目が終わり全勝を守った。新横綱の初日から12連勝は、1場所15日制が定着した49年夏場所以降、先代師匠の隆の里（15戦全勝）に次ぎ2位タイ。ぜひ新横綱全勝優勝が見たい。

## 座右の銘

住田 泰典

### 『因は我にあり』

どんな仕事でも予期せぬトラブルは起るものです。トラブルには原因があり、それを解決しておくことは同じ過ちを繰り返さないためにも大切なことだと思います。かつて私がサラリーマンだった頃は、その原因を自分の外に探していました。例えば会社の責任や同僚の責任など、トラブルの後には責任転嫁の言い訳に終始していたように記憶しています。しかし今は違います。零細企業とはいえ一国一城の主です。取引先やお客さんとのトラブル、社員の起こす社内トラブル。すべてのトラブルは自分の責任。指示不足や事前情報不足、教育不足など個々の相手に合わせたトラブル回避策を提供していなかったことが原因です。「因は我に有り」即ち、この一言に尽きます。この言葉には己を反省する謙虚さと未来を改善する前向きさがあります。トラブルの後始末に終始する辛い場面でも一言呟くとスッと心が落ち着きます。また、原因が自分にあるならば、今後同じようなトラブルを抱えてもそれを解決できるか否かはすぐに判断できます。出来ないことは出来ない。そう思えばズルズルと悩む必要もありません。ちなみに大きな声では言えませんが、何かで成功したときにもこの言葉をコソコソ呟くことがあります。ビール片手に至福のひとつきを味わえる自分への最大の褒め言葉でもあります。



## 座右の銘

田邊 淳

### 『人生の目的は行為にして 思想にあらず』

～トーマス・カーライル～

幸せになれる思想があっても、幸せになる行為がなければ、幸せにはなれない

考えること、発言することはだれでもできます。しかしそれをどれだけ行動に移せるかが重要です。素晴らしい考えや計画があっても、それを行動に移さなければ、その考えを思いつかなかったことと同じである。過去会社の先輩に以下のように言われ、以降自分の「座右の銘」としています。

「出来る人間と出来ない人間の差は、どれだけ考えを行動に移せるかの違いだ。考え・アイディアは自身の経験則、各種メディア、書籍、友人・知人から得ることが出来るが、それを1歩ずつでもいいから実現に向けて行動に移せるかが、出来る社員と出来ない社員の差だと思う」

「トーマス・カーライル」

19世紀イギリスの歴史家、「この国民にしてこの政府あり」はカーライルの名言の1つ。

